

最明寺史跡公園

Saimyoji Historic site park

マップ

富士山
眺望よし!

最明寺史跡公園

徒歩

- 西平畑公園 自然館から約90分
- 小田急線「新松田駅」
JR御殿場線「松田駅」
から約2時間

車

- 東名高速「大井松田IC」から
約20分

最(西)明寺跡の由来

伊豆山の別当浄蓮上人源延は、夢のお告げを受け、信州善光寺の一光三尊善光寺如来の尊像を模写して越前の仏師海繩にたのんで金銅の仏像を鑄造して承久三年(1221)松田の郷庶子山に安置し、寺を西明寺といった。

源延は源頼朝の重臣加藤左衛門尉実長斎といひ、出家して、天台の澄憲の門に学び、のちに伊豆山の別当となって活躍した。第二位覚阿上人円浄の時に最明寺入道北条時頼は、善光寺如来を深く信仰し、寺領一千五百石を寄進したので、この時寺門は隆盛であったと伝える。

応仁・文明の戦乱のため、最明寺は次第に衰えた。文明年間、鎌倉八正寺宮尊賢親王は、弟子の賢昌を住持として寺の復興を計ったが、山道険しく、人ともに困難であるため、寺を金子の郷に移した。

庶子山西明寺の田地は、庶子村の信徒にまもられ、数百年の間、毎年四月十日の施餓鬼会と善光寺如来の戸ごとの巡行供養が行われてきた。その後、松田町庶子戸主会、現在の庶子自治会が継承して昭和の今日に至っている。 昭和63年10月吉日(松田町教育委員会)

最明寺史跡公園入口

チェックメイトカントリークラブ入口
看板目印

凡例

- 徒歩
- 車
- 舗装道路
- 道路
- 駐車場
- トイレ
- 多目的トイレ
- AED設置
- 桜の見どころ

